

# 道南太平洋海域スケトウダラニュース

平成15年度 第3号 2003年11月5日

北海道立函館水産試験場室蘭支場

Tel: 0143-22-2327

Fax: 0143-22-7605

## 道南太平洋スケトウダラ計量魚探調査結果

函館水試調査船金星丸により実施されたスケトウダラ計量魚探調査の結果をお知らせします。今回はシケのため、渡島海域のみの調査となりました。

- ・調査期間：平成15年10月27日～10月28日
- ・調査海域：道南太平洋の水深200～400m海域

**シケのため調査は渡島海域のみ**

**鹿部、砂原沖に魚群反応**

**魚群の分布水深は200-250mと350-370m**

**渡島海域のスケトウダラ平均反応量は平成13年並に増加**

1. 9月調査でほとんど魚群反応の見られなかった鹿部および砂原沖（海区番号188-189、192-193）に中程度の魚群反応が観察されました。これらの魚群は、9月の下旬以降新たに渡島海域に入ってきたものと思われます（図1、2）。
2. 渡島海域の平均反応量は、平成13年並の水準に増加しました（図3）。
3. 魚群の分布水深は200～250mおよび350～370mでした（図4）。
4. 渡島海域では、当面現在の漁獲量水準が維持されるものと予想されます。
5. 12月以降の漁況は、次回調査の結果から判断する予定です。次回調査は、予定を1週間繰り上げて11月10日～20日を予定しています。

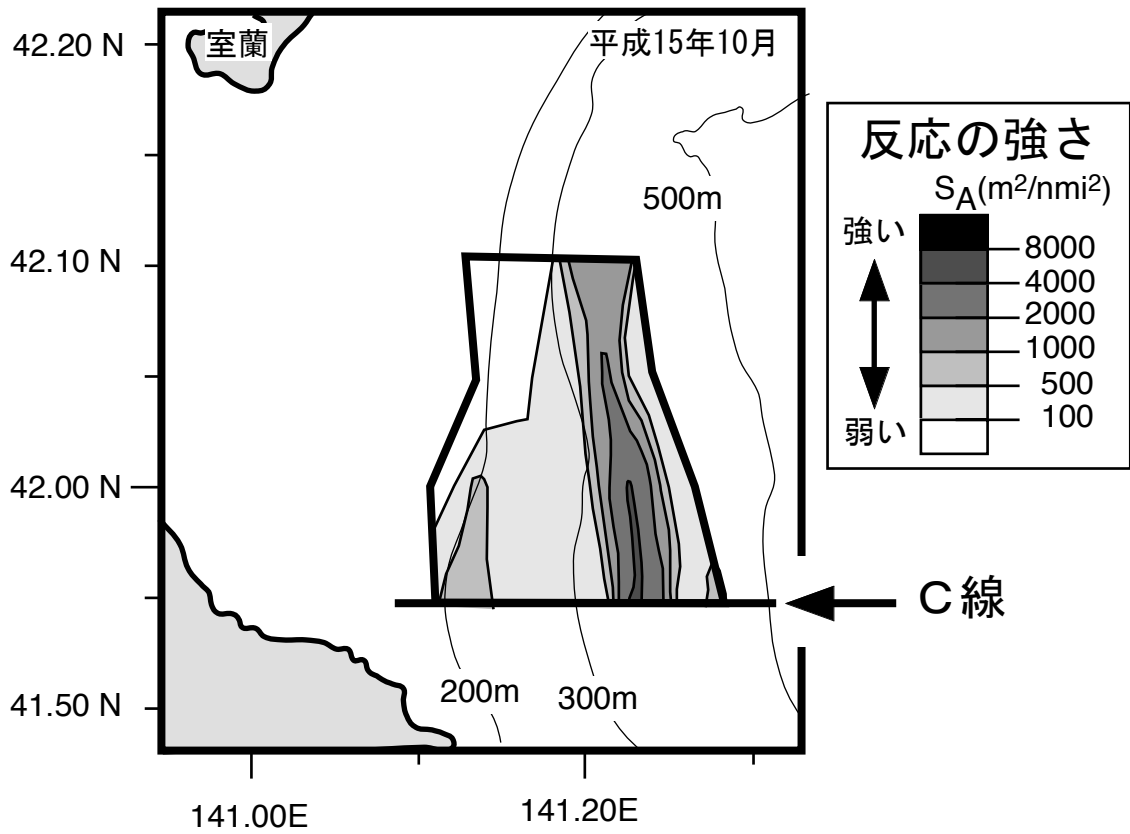


図1. 平成15年10月のスケトウダラの分布 (計量魚探調査)  
黒枠の内側が調査範囲

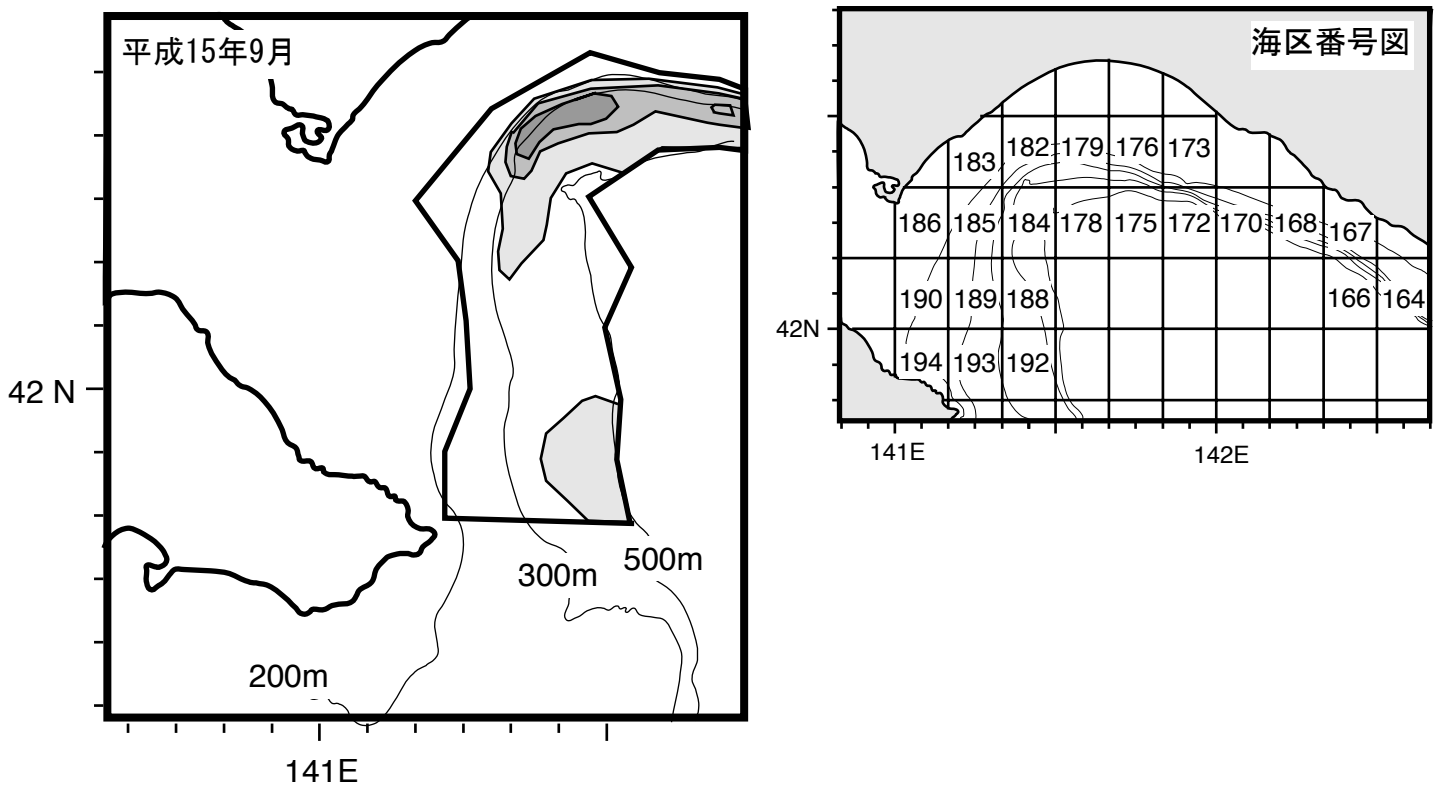


図2. 平成15年9月のスケトウダラの分布  
(計量魚探調査)  
黒枠の内側が調査範囲

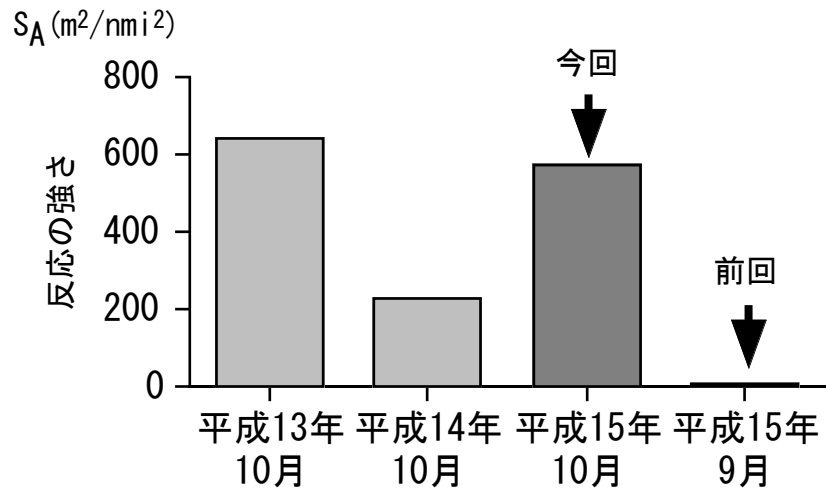


図3. 平成13~15年10月のスケトウダラ平均反応量 (渡島海域のみの平均値)

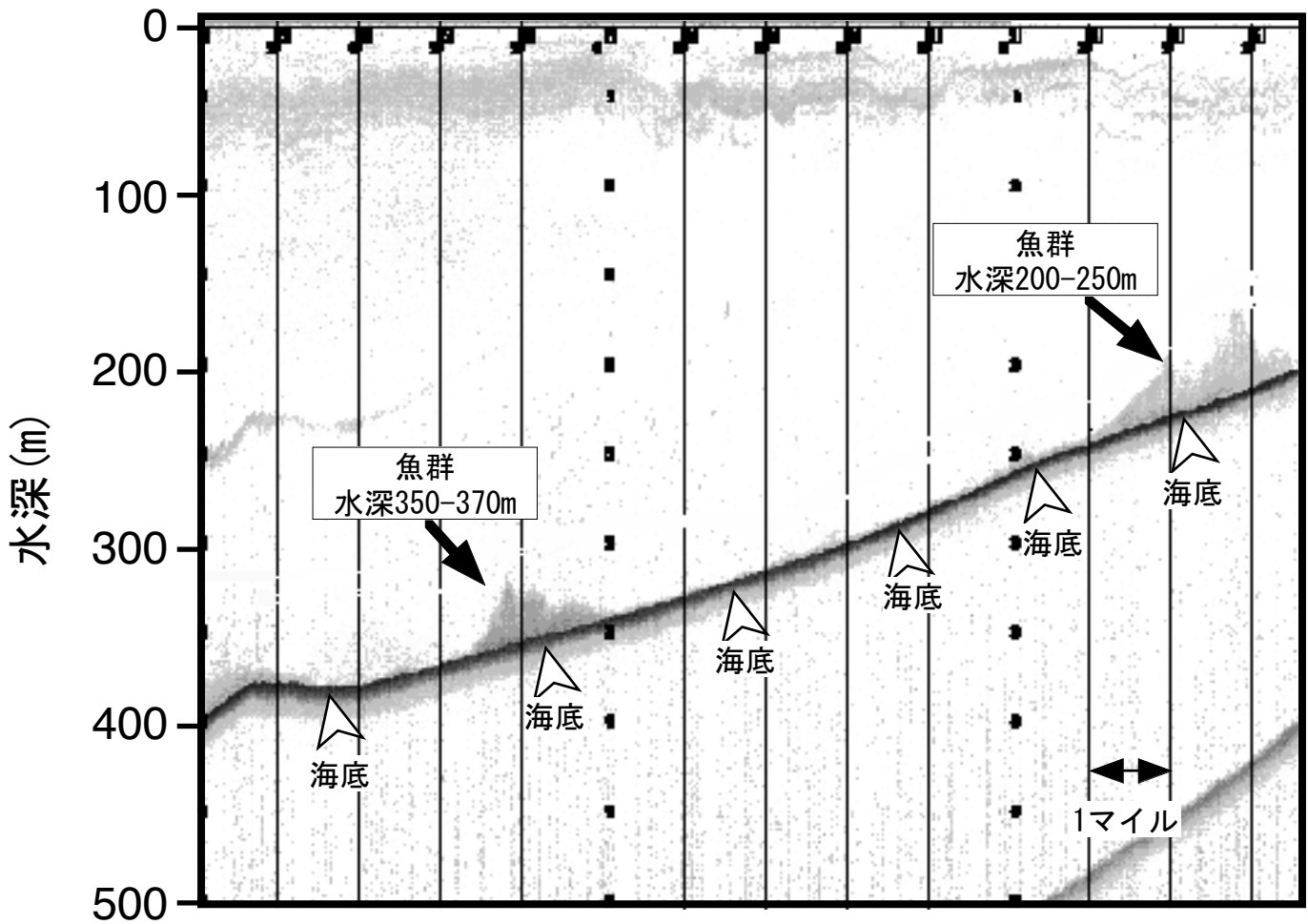


図4. C線の魚探画像